

道央圏交通体系 フォーラム

新幹線時代の札幌の役割とは

主催／札幌商工会議所

共催／(一社)北海道開発技術センター(dec)

日時

平成28年3月7日[月]

14:30~17:00

3月26日、いよいよ北海道新幹線が道南の地にて開業します。

2030年度には札幌開業を迎えることとなりますが、新幹線効果をいかに全道に波及させていくか、今から札幌開業を見据えて、総合的な交通体系のあり方を検討していく必要があります。

札幌商工会議所では、これまで「札幌都心アクセス道路の整備」、「丘珠空港の機能拡充」といった二次交通整備や「札幌駅前再整備」の必要性に関し、提言「札幌広域圏の総合交通体系グランドデザイン」(裏面参照)を取りまとめ、その実現に向けて取り組んできました。

今回は、新幹線時代に向けて、観光、ビジネス等における道内の交通結節点として道央圏が果たすべき役割、さらにはインフラ整備を通して、地方創生や医療、防災等の国土強靱化へどのように貢献していくべきかについて議論するフォーラムを開催します。

会場

札幌パークホテル 3階パークホール
札幌市中央区南10条西3丁目1-1

参加無料
定員
200名

プログラム

◎ 第1部 [50分]

基調講演「地方創生・国土強靱化と社会資本」

筑波大学社会工学域 教授・(一財)日本みち研究所 理事長 **石田 東生氏**

1974年、東京大学土木工学科卒業。1982年に筑波大学社会学にて教員、1989年に筑波大学社会学系助教授、1996年に教授を経て、現在は筑波大学大学院システム情報工学研究科教授。社会資本政策、交通政策、国土計画が専門で、国土交通省社会資本整備審議会(道路分科会長)、交通政策審議会、観光庁観光地域ブランド確立支援事業等検討会などの委員。また、一般財団法人「日本みち研究所」理事長、NPO法人日本風景街道コミュニティ代表理事、日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)日本創生国土計画委員会委員長。

◎ 第2部 [90分]

パネルディスカッション

● コーディネーター

北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 教授

高野 伸栄氏

● パネリスト

筑波大学社会工学域 教授・(一財)日本みち研究所 理事長

石田 東生氏

札幌医科大学 医学部救急医学講座 教授
同 附属病院 高度救命救急センター センター長

成松 英智氏

十勝バス(株) 代表取締役・帯広商工会議所 副会頭

野村 文吾氏

(一社)北海道開発技術センター(dec) 会長
北海道大学 名誉教授・北海科大学 教授

佐藤 馨一

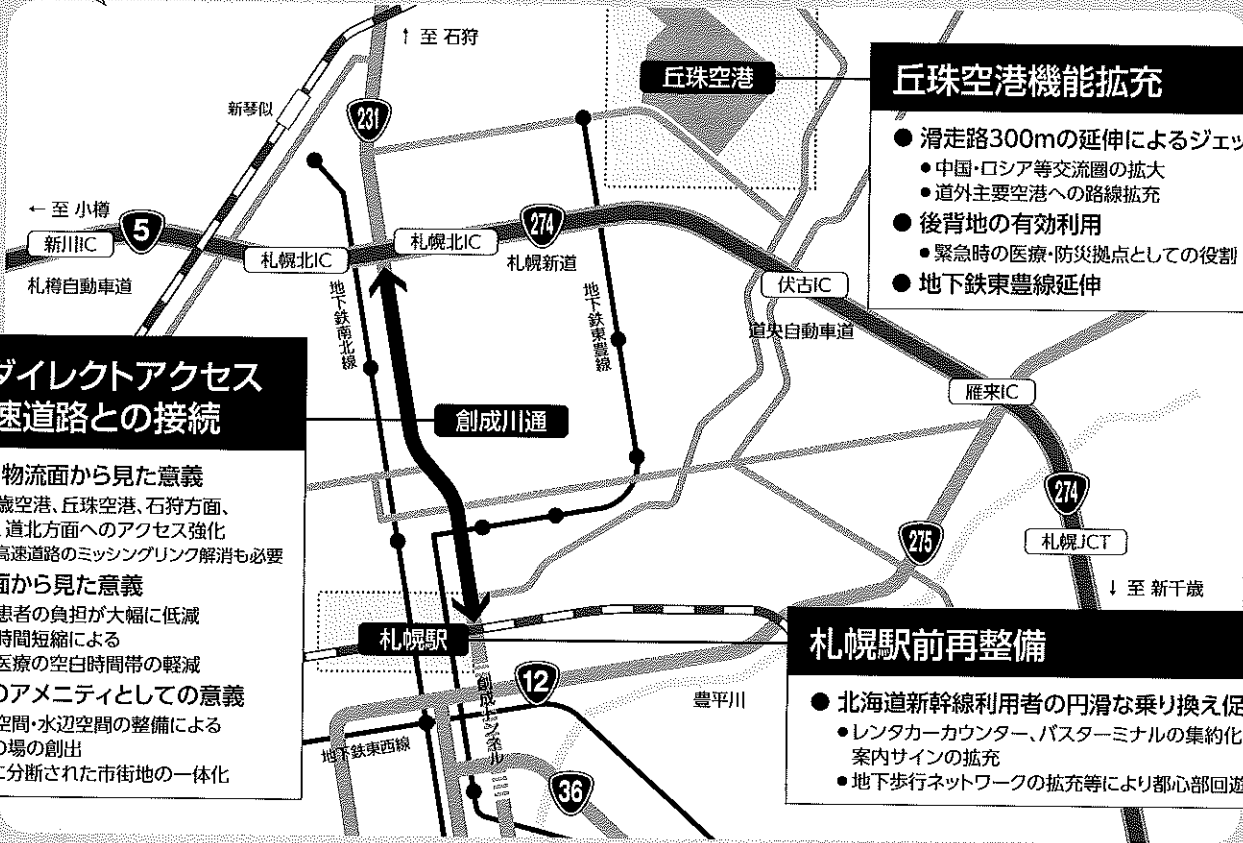
札幌商工会議所 副会頭・北海道エネルギー(株) 代表取締役社長

勝木 紀昭

提言

札幌広域圏の総合交通体系グランドデザイン

北海道新幹線 開業時期の前倒しに向けて



丘珠空港機能拡充

- 滑走路300mの延伸によるジェット機対応
 - 中国・ロシア等交流圏の拡大
 - 道外主要空港への路線拡充
- 後背地の有効利用
 - 緊急時の医療・防災拠点としての役割
- 地下鉄東豊線延伸

都心ダイレクトアクセス ＝ 高速道路との接続

- 観光、物流面から見た意義
 - 新千歳空港、丘珠空港、石狩方面、道東、道北方面へのアクセス強化
 - ※道内高速道路のミッシングリンク解消も必要
- 医療面から見た意義
 - 搬送患者の負担が大幅に低減
 - 帰省時間短縮による救急医療の空白時間帯の軽減
- 都市のアメニティとしての意義
 - 緑化空間・水辺空間の整備による憩いの場の創出
 - 東西に分断された市街地の一体化

札幌駅前再整備

- 北海道新幹線利用者の円滑な乗り換え促進
 - レンタカーカウンター、バスターミナルの集約化
 - 案内サインの拡充
 - 地下歩行ネットワークの拡充等により都心部回遊性の向上

FAX (011) 222-5215

道央圏交通体系フォーラム

～新幹線時代の札幌の役割とは～

参加申込書

フォーラムへの参加をご希望の方は下記に必要事項をご記入の上、ファックスにてお申し込み願います。

会社名 _____ 電話 (_____) _____

住所 〒 _____

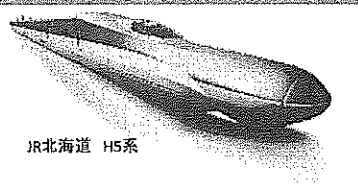
参加者役職

参加者氏名

※ご記入いただきました個人情報は、本フォーラム並びに当所諸事業のご案内以外に使用いたしません。

お問い合わせ／札幌商工会議所 総合企画部企画課

電話／(011)231-1360 ファックス／(011)222-5215 E-mail／kikaku@sapporo-cci.or.jp



北海道新幹線H5系車両パッケージを使って 北海道新幹線開業を盛り上げよう！ H5系パッケージ販売のご案内

札幌商工会議所では、北海道新幹線の開業機運を盛り上げるべく、北海道新幹線H5系車両をかたどった共通パッケージを作成致しました。本パッケージは、自社商品のパッケージやノベルティケースなど、様々な場面でご利用いただけます。是非、この機会にご活用ください。

こんな使われ方がされてます！

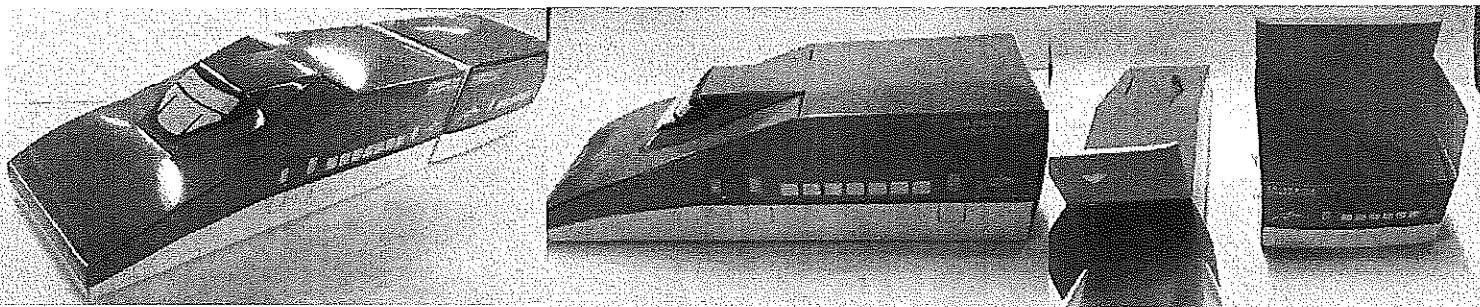
・(菓子製造業・商業施設)

小袋に梱包された菓子の詰め合わせ用のケースとして(お客様が自由に詰め合わせ)

・(ホテル)

ホテルオリジナルのクッキー等の菓子を本ケースに詰め合わせて販売

など



注文ロット：500枚 ※車両毎の最小ロットです。
※先頭車と客車あわせて500枚のお申し込みはできません。

単 価：先頭車@195円/枚 (税込) [97,500円/500枚]

客 車@189円/枚 (税込) [94,500円/500枚]

申込締切：平成28年3月14日(月) ※裏面よりお申し込み下さい

納品時期：平成28年4月15日(金)頃～

仕様

- 材質構成：コートボール紙 (JETスター350g/m²)、UVインキ
- 仕上形態：プレスコート手貼 (両面テープ留め)
- 寸 法：先頭車納入時：縦454mm×横139mm
組立時：縦216mm×横77mm×高さ61.5mm
客車 納入時：縦242.5mm×横274mm
組立時：縦123mm×横76mm×高さ60.5mm

※使用に当たっての注意

- ・シールを貼る場合は文字やデザインにかからないようご配慮ください。
- ・食品一次容器としては使用できません。
- ・耐水、耐油機能はございませんので、冷凍、冷蔵品、乳化製品にご利用の場合は十分取り扱いにご注意ください。
- ・箱本体の強度には限りがございます。瓶など重量のある内容物は避けてください。また内容物により、緩衝材など封入形態は皆さまにてご配慮ください。
- ・先頭車両と客車との連結部分は仮留めです。扱いによっては破れる場合もありますので予めご了承ください。

※JR北海道へのロイヤリティーについて

本パッケージの使用に当たっては、JR北海道へお支払するロイヤリティー（「店頭での販売価格[オープン価格の場合、想定される通常販売価格]×3%）が発生する場合があります。

■ロイヤリティーが発生しない場合（JR北海道への申請・連絡不要）

- ・本パッケージをお客様が購入した商品を入れる包装資材として活用する場合
- ・ノベルティ（無償提供）のパッケージとして活用する場合

■ロイヤリティーが発生する場合（JR北海道への申請が必要）

- ・本パッケージをセット商品の専用ケースとして使用する場合
- ・商品名に「北海道新幹線」、「H5系」等を使用する場合

例) △△洋菓子店謹製「北海道新幹線セット」（クッキー×5、チョコ×1）【1,000円】
→商品・価格を固定したセット販売であることに加え、商品名に「北海道新幹線」を使用しているため

ロイヤリティーの支払について

JR北海道に対し、上半期（4/1～9/30）・下半期（10/1～3/31）分の販売実績に応じたロイヤリティーを5月末、11月末にそれぞれお支払頂きます。

【お問い合わせ】

国際・観光部 食産業・貿易課（西川・樋口） TEL:011-231-1332

FAX : 011-222-5215（札幌商工会議所 食産業・貿易課 宛）
北海道新幹線H5系車両パッケージ 注文書

会社名			
住所	〒		
担当者役職		担当者氏名	
TEL		FAX	
E-mail			
注文枚数	先頭車両:()ロット×500枚=()枚 客車:()ロット×500枚=()枚		
使用方法	※パッケージの用途・商品の販売価格等について		

※ご記入いただきました個人情報は本件に関するもののほか、当所諸事業のご案内以外には使用いたしません。